

市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

財政力

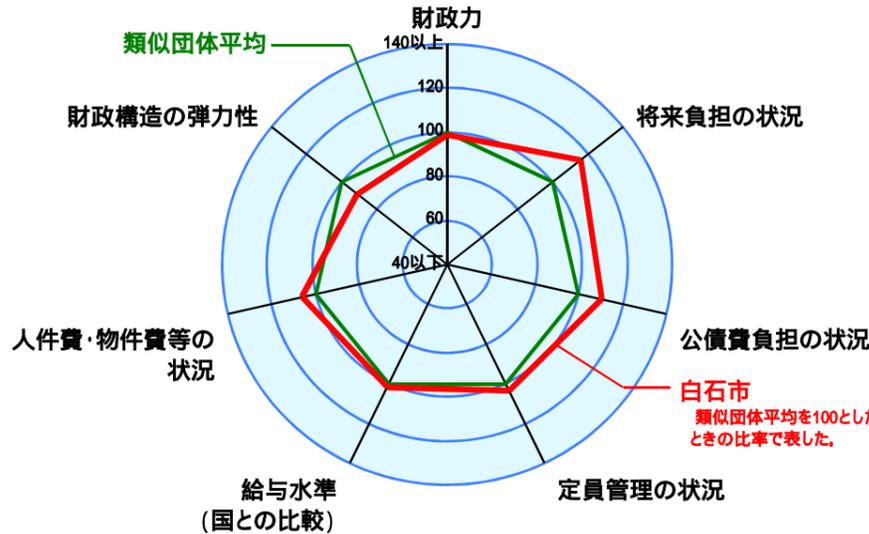
財政力指数 [0.48]



● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 40/89
全国市町村平均 0.56
宮城県市町村平均 0.55

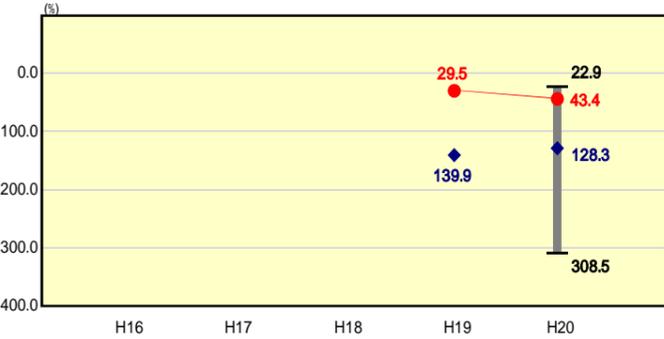
人口	38,439 人(H21.3.31現在)
面積	286.47 km ²
標準財政規模	9,443,910 千円
歳入総額	14,485,005 千円
歳出総額	14,070,519 千円
実質収支	383,730 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の状況

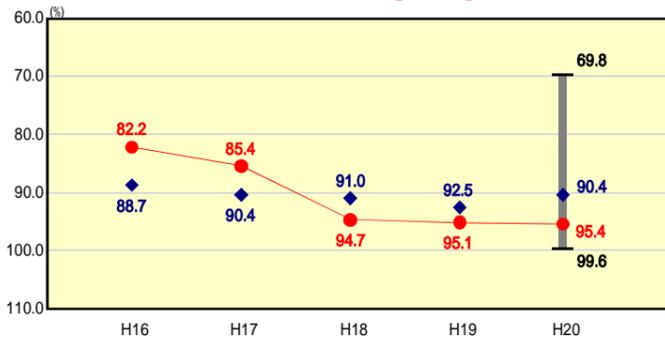
将来負担比率 [43.4%]



類似団体内順位 3/89
全国市町村平均 100.9
宮城県市町村平均 132.1

財政構造の弾力性

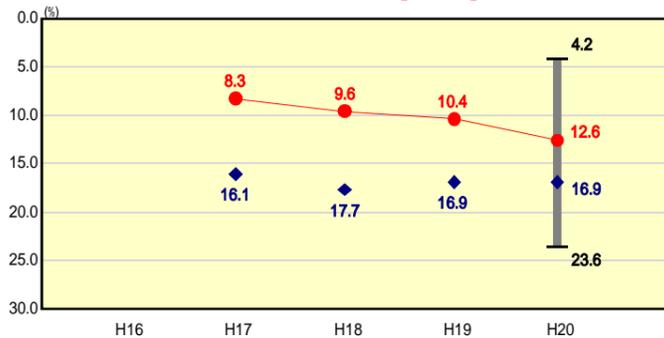
経常収支比率 [95.4%]



類似団体内順位 73/89
全国市町村平均 91.8
宮城県市町村平均 93.7

公債費負担の状況

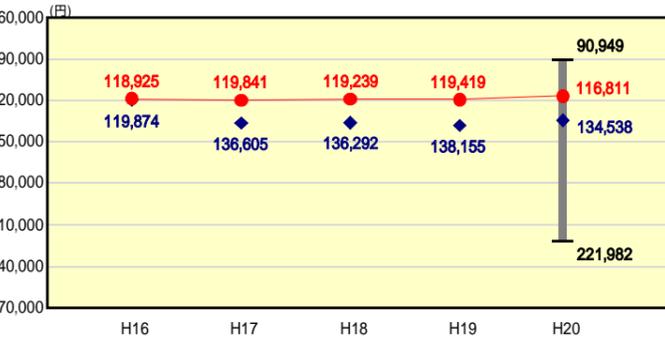
実質公債費比率 [12.6%]



類似団体内順位 15/89
全国市町村平均 11.8
宮城県市町村平均 13.1

人件費・物件費等の状況

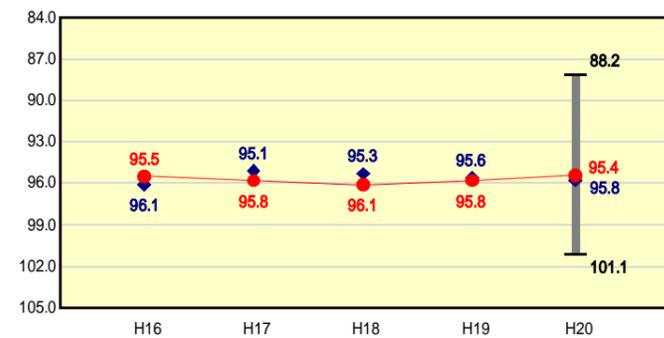
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [116,811円]



類似団体内順位 27/89
全国市町村平均 114,142
宮城県市町村平均 117,872

給与水準(国との比較)

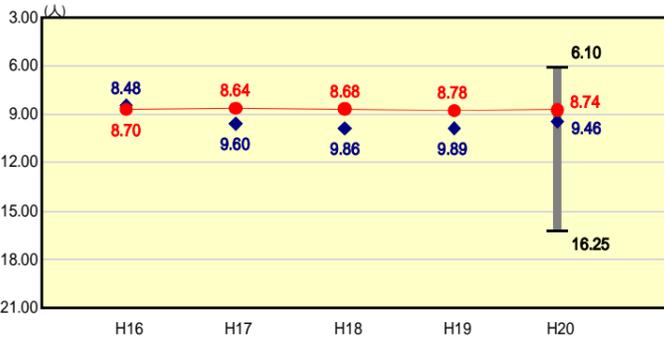
ラスパイレス指数 [95.4]



類似団体内順位 34/89
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.74人]



類似団体内順位 33/89
全国市町村平均 7.46
宮城県市町村平均 7.80

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数

・人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成20年度末26.97%)に加え、景気低迷の影響で0.48と類似団体平均を若干下回っている。定員適正化計画による人件費の削減や事業の見直しなどにより歳出削減を実施するとともに、市税等収納率の向上など自主財源確保に取り組み、財政の健全化を図る。

経常収支比率

・経常的経費が前年度に比べ45百万円減少したものの、市税や地方消費税交付金の減額など経常一般財源等が70百万円減少し、前年度から0.3ポイント上昇して95.4%と全国平均及び類似団体平均を上回る結果となった。扶助費が増加傾向にあることから、今後も白石市行財政改革推進計画に沿った取り組みを通して経常的経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

・類似団体平均を下回っている。今後も同水準を保つように、白石市行財政改革推進計画などに則して、人件費、物件費などの削減に努める。

ラスパイレス指数

・全国市平均値を3.0ポイント、類似団体平均値を0.4ポイントそれぞれ下回っており、ほぼ適正な水準であると考えられるが、今後も引き続き各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

将来負担比率

・全国平均及び類似団体平均を大きく下回る43.4%となっている。しかし、今後、一部事務組合などの公債費への負担金等の増額が予想されることから、充当可能な財源を確保するなど健全な財政運営に努める。

実質公債費比率

・高利率の市債を繰上償還してきたことから、類似団体平均を下回る12.6%となっている。しかし、今後、公営企業の元利償還金への繰入金、一部事務組合などの公債費への負担金等の増額が予想されることから、白石市行財政改革推進計画のもと、緊急度・住民ニーズを的確に把握して事業を行うなど健全な財政運営に努める。

人口千人当たり職員数

・これまで定員適正化計画を着実に実行しており、類似団体平均を下回っている。平成22年4月1日における市全体の総定員については、平成17年4月1日現在の総定員に対して18人(4.6%)減を目標として人員の削減に努める。